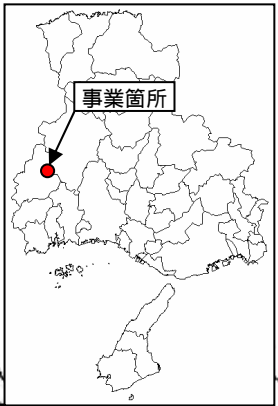


## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 ( 藤井 嘉彦 )	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.9 億円
		通常砂防事業 ひろくに 広国川		内用地補償費	0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
佐用郡佐用町下三河 <small>さようちょうしもみかわ</small>			H21	H21	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 8.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 (流域の状況)	・(二)千種川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み(最大1.0m)、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
(保全対象等の状況)	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ300m、最大幅280m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家20戸、下三河公民館(避難所)</u> ・ <u>県道穴栗下徳久線(緊急輸送路:約250m)、県道若桜下三河線(緊急輸送路:約70m)、町道(約400m)</u>				
(2)有効性・効率性 (効果)	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成20年度に土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、平成21年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
(事業執行環境)	・工所用道路の確保が容易であるなど、事業執行環境は整っている。				
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・地元からの要望も強く、町からのえん堤建設要望も出ており、円滑な事業執行が可能。  以上より、H21年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

ひろくにがわ  
**広国川**  
 [佐用町]

計画概略図  
 縮尺 1:5,000



凡例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red;"></span>	事業実施箇所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow;"></span>	土石流氾濫区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange;"></span>	保全人家等

